

公開シンポジウム「健康リスクとリスクコミュニケーション」
の開催について

1. 主 催 日本学術会議健康・生活科学委員会・環境学委員会合同
環境リスク分科会
共 催 第80回日本産業衛生学会

2. 日 時 平成19年4月27日(金) 14:00~16:00

3. 場 所 大阪国際会議場 会議室 702

4. 次 第

開催趣旨

現代社会に住む我々は、多くの環境リスクに曝されている。特に石油化学の発展以後多くの化学物質にとり囲まれ、カネミ油症事件、ダイオキシン類、いわゆる環境ホルモンといった問題が次々と起こり、健康リスクに対する国民の不安が高まっている。これらの問題は、従来の安全か危険かという二分法ではなく、「リスク」という一種の確率の概念で捉えられるようになっているが、一般国民の理解はまだ十分とは言えない。リスクに関する正しい知識を共有し、リスクを削減していくための手段としてのリスクコミュニケーションについても同様である。本シンポジウムでは、リスク社会、化学物質、放射線の健康リスクをとりあげ、どのようにリスクコミュニケーションを考えて行ったらいいのかを、主に衛生学の専門家、行政、市民と意見を交わすことを目的としている。これらのシンポジウムを通して得られた情報や資料を基にして、日本学術会議の对外報告に資する。

プログラム

14:00 ~ 14:05 開会挨拶

岸 玲子 (北海道大学大学院医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野教授, 日本学術会議会員, 日本学術会議健康・生活科学委員会パブリックヘルス科学分科会委員長)

講演

座長: 内山 巖雄 (京都大学大学院教授, 日本学術会議連携会員, 日本学術会議健康・生活科学委員会・環境学委員会合同 環境リスク分科会委員長)

清水 英佑 (東京慈恵会医科大学教授, 日本学術会議連携会員)

14:05 ~ 14:35

(1) 「リスク社会を生きる知恵とは」

鈴木 晶子 (京都大学大学院教育学研究科教授, 日本学術会議会員)

14:35 ~ 15:05

(2) 「リスクの実体とリスクの受容: 放射線はどれほど危険か」

丹羽 太貫 (京都大学放射線生物研究センター教授, 日本学術会議連携会員)

15:05 ~ 15:35

(3) 「曝露と健康リスク」

吉村 健清 (福岡県保健環境研究所所長, 日本学術会議連携会員)

15:35 ~ 15:55 質疑・応答

15:55 ~ 16:00 閉会挨拶

有菌 幸司 (熊本県立大学環境共生学部教授, 日本学術会議連携会員)